



2023年8月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年4月14日

上場会社名 日創プロニティ株式会社 上場取引所 東 福
 コード番号 3440 URL https://www.kakou-nisso.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石田 徹
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長 (氏名) 諸岡 安名 TEL 092-555-2825
 四半期報告書提出予定日 2023年4月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年8月期第2四半期の連結業績（2022年9月1日～2023年2月28日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年8月期第2四半期	5,208	75.9	333	187.4	345	178.7	1,740	—
2022年8月期第2四半期	2,961	△24.9	116	△51.7	123	△56.5	42	△76.8

(注) 包括利益 2023年8月期第2四半期 1,742百万円 (—%) 2022年8月期第2四半期 40百万円 (△78.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年8月期第2四半期	268.54	266.01
2022年8月期第2四半期	6.57	6.47

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年8月期第2四半期	22,088	11,373	51.4
2022年8月期	14,482	9,727	66.8

(参考) 自己資本 2023年8月期第2四半期 11,344百万円 2022年8月期 9,672百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年8月期	—	0.00	—	15.00	15.00
2023年8月期	—	0.00	—	—	—
2023年8月期（予想）	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

配当予想の修正については、本日（2023年4月14日）に公表いたしました「配当予想の修正（増配及び記念配当）に関するお知らせ」をご覧ください。

2023年8月期（予想）期末配当金の内訳 普通配当20円00銭 記念配当10円00銭

3. 2023年8月期の連結業績予想（2022年9月1日～2023年8月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,900	61.4	580	61.7	645	62.6	1,900	—	292.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 1社（社名）ニッタイ工業株式会社 除外 1社（社名）－
（注）詳細は、添付資料P. 9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動）」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（注）詳細は、添付資料P. 9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年8月期2Q	7,360,000株	2022年8月期	7,360,000株
② 期末自己株式数	2023年8月期2Q	856,350株	2022年8月期	892,350株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年8月期2Q	6,482,965株	2022年8月期2Q	6,433,700株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報)	10
(重量な後発事象)	12
3. 補足情報	13
生産、受注及び販売の実績	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染者数減少に伴い、個人消費活動や訪日客増加によるインバウンド需要の回復により、景況感は持ち直しを見せ、円安や資源高によるコスト増加圧力はあるものの、企業の設備投資活動は底堅く推移いたしました。一方、海外を中心に需要減少の動きが見られ、輸出が減少するなど、依然として先行き不透明な状況が続きました。

当社グループにおきましては、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に起因する直接的な影響は軽微であったものの、ウクライナ情勢等を受けた資源・エネルギー価格の高騰や急速に進んだ円安の影響もあり、先行き不透明な状況が続くものと見込んでおります。

このような状況の中、当社グループは「第3次中期経営計画“Challenge”」に基づき、加工を通じてお客様のあらゆるニーズに応える企業グループを形成していくため、当第2四半期連結会計期間において、防音・消音機器製造業の株式会社ワタナベテクノス及び株式会社エヌ・テクノス並びに、タイル製造業のニッタイ工業株式会社及びタイル輸入販売業のエヌ・トレーディング株式会社をそれぞれ子会社化いたしました。

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、当社グループは、新規取引先の開拓、既存取引先のリピートに積極的に取り組み、主として金属加工事業においてオーダー加工品の案件が増加したこと、建設事業における電気工事及び内装工事の伸長やM&Aによりグループ化した株式会社壹会の業績寄与等により、売上高は5,208百万円（前年同四半期比75.9%増）、営業利益は333百万円（同187.4%増）、経常利益は345百万円（同178.7%増）となりました。また、主にニッタイ工業株式会社及びエヌ・トレーディング株式会社の子会社化に伴い特別利益（負ののれん発生益）を1,567百万円計上したことにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,740百万円（前年同四半期は42百万円）となりました。

なお、セグメント別の業績は次のとおりであります。

(金属加工事業)

金属サンドイッチパネルを中心にオーダー加工品の案件が増加したことで、売上高は2,410百万円（前年同四半期比17.3%増）、セグメント利益は219百万円（同44.6%増）となりました。なお、受注高は2,384百万円（同12.6%増）、受注残高は1,369百万円（同3.9%減）となりました。

また、2023年1月23日付けで株式会社ワタナベテクノス及び株式会社エヌ・テクノスを子会社化いたしました。が、みなし取得日を2023年2月28日としているため、当第2四半期連結会計期間においては、貸借対照表のみを連結しており、これら2社に関する業績は同セグメントに含まれておりません。

(ゴム加工事業)

既存取引先との関係強化に積極的に取り組み、一定案件の受注を確保しましたが、材料費率が若干上昇し売上高は568百万円（前年同四半期比1.8%減）、セグメント利益は115百万円（同16.4%減）となりました。なお、受注高は535百万円（同7.9%減）、受注残高は86百万円（同17.2%減）となりました。

(建設事業)

電気工事や内装工事を中心に営業活動に取り組んだことや、M&Aによりグループ化した株式会社壹会の業績寄与により、売上高は2,229百万円（前年同四半期比579.5%増）、セグメント利益は255百万円（前年同四半期は6百万円）となりました。なお、受注高は2,793百万円（同217.8%増）、受注残高は3,363百万円（同94.5%増）となりました。

(タイル事業)

2023年2月13日付けでニッタイ工業株式会社及びエヌ・トレーディング株式会社を子会社化いたしました。が、みなし取得日を2023年2月28日としているため、当第2四半期連結会計期間においては、貸借対照表のみを連結しております。なお、受注残高は1,205百万円であります。

(注) セグメント利益の合計額と営業利益との差異△257百万円は、主として、子会社株式の取得関連費用△105百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△159百万円であります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は14,620百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,926百万円増加いたしました。これは主に、連結子会社の増加（4社）により、現金及び預金が1,622百万円、受取手形、売掛金及び契約資産が1,848百万円、電子記録債権が320百万円、商品及び製品が963百万円それぞれ増加したことによるものであります。また、固定資産は7,467百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,680百万円増加いたしました。これは主に、連結子会社の増加（4社）により、建物及び構築物（純額）が602百万円、土地が1,689百万円それぞれ増加したことによるものであります。

この結果、資産合計は22,088百万円となり、前連結会計年度末に比べ7,606百万円増加いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は5,117百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,853百万円増加いたしました。これは主に、連結子会社の増加(4社)により、支払手形及び買掛金が534百万円、短期借入金960百万円、1年内返済予定の長期借入金752百万円それぞれ増加したことによるものであります。また、固定負債は5,596百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,106百万円増加いたしました。これは主に、連結子会社の増加(4社)により、長期借入金2,381百万円、固定負債のその他が604百万円それぞれ増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は10,714百万円となり、前連結会計年度末に比べ5,960百万円増加いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は11,373百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,645百万円増加いたしました。これは主に、特別利益(負ののれん発生益)の計上により利益剰余金が1,641百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は51.4%(前連結会計年度末は66.8%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2022年10月14日公表の業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日(2023年4月14日)公表いたしました「特別利益(負ののれん発生益)の計上、第2四半期業績予想と実績値との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,753,467	7,376,030
受取手形、売掛金及び契約資産	2,294,855	4,143,601
電子記録債権	419,905	740,798
商品及び製品	143,015	1,106,448
仕掛品	238,302	413,747
未成工事支出金	20,644	59,716
原材料及び貯蔵品	501,504	659,614
その他	327,783	125,891
貸倒引当金	△5,119	△5,359
流動資産合計	9,694,358	14,620,488
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,809,391	2,411,766
機械装置及び運搬具(純額)	757,403	819,681
土地	954,521	2,644,000
リース資産(純額)	40,443	32,134
建設仮勘定	660,000	789,741
その他(純額)	49,564	66,578
有形固定資産合計	4,271,323	6,763,902
無形固定資産		
のれん	237,533	219,492
その他	70,748	80,733
無形固定資産合計	308,282	300,226
投資その他の資産		
投資有価証券	43,378	96,271
その他	164,788	307,507
投資その他の資産合計	208,167	403,778
固定資産合計	4,787,773	7,467,907
資産合計	14,482,132	22,088,396

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年2月28日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	275,687	810,332
工事未払金	301,915	470,667
短期借入金	500,000	1,460,000
1年内返済予定の長期借入金	522,791	1,274,849
未払法人税等	169,858	309,194
賞与引当金	40,944	123,721
資産除去債務	—	4,043
その他	452,890	664,745
流動負債合計	2,264,088	5,117,554
固定負債		
長期借入金	2,065,020	4,446,655
退職給付に係る負債	156,915	161,001
資産除去債務	101,362	218,361
その他	166,756	770,903
固定負債合計	2,490,055	5,596,921
負債合計	4,754,143	10,714,475
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,176,968	1,176,968
資本剰余金	1,096,968	1,096,968
利益剰余金	8,113,015	9,754,295
自己株式	△713,003	△684,238
株主資本合計	9,673,948	11,343,992
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,784	202
その他の包括利益累計額合計	△1,784	202
新株予約権	55,825	29,725
純資産合計	9,727,988	11,373,920
負債純資産合計	14,482,132	22,088,396

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年9月1日 至 2022年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年2月28日)
売上高	2,961,016	5,208,151
売上原価	2,226,952	4,090,759
売上総利益	734,064	1,117,392
販売費及び一般管理費	617,984	783,748
営業利益	116,079	333,644
営業外収益		
受取利息	38	29
受取配当金	1,958	2,045
受取家賃	2,485	—
補助金収入	4,365	14,290
その他	1,941	7,207
営業外収益合計	10,788	23,573
営業外費用		
支払利息	2,377	11,801
匿名組合投資損失	476	—
その他	149	201
営業外費用合計	3,003	12,003
経常利益	123,864	345,214
特別利益		
固定資産売却益	9	149
負ののれん発生益	—	1,567,763
投資有価証券売却益	—	270
特別利益合計	9	1,568,184
特別損失		
固定資産売却損	10	222
固定資産除却損	7,269	122
投資有価証券売却損	—	668
特別損失合計	7,279	1,013
税金等調整前四半期純利益	116,593	1,912,385
法人税、住民税及び事業税	68,603	152,208
法人税等調整額	5,690	19,254
法人税等合計	74,293	171,462
四半期純利益	42,300	1,740,923
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	42,300	1,740,923

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年9月1日 至 2022年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年2月28日)
四半期純利益	42,300	1,740,923
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,970	1,987
その他の包括利益合計	△1,970	1,987
四半期包括利益	40,329	1,742,910
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	40,329	1,742,910
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年9月1日 至 2022年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	116,593	1,912,385
減価償却費	155,231	197,821
のれん償却額	6,755	26,487
負ののれん発生益	—	△1,567,763
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	819	240
賞与引当金の増減額 (△は減少)	38,399	2,729
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	11,531	4,085
受取利息及び受取配当金	△1,996	△2,075
支払利息	2,377	10,843
固定資産売却損益 (△は益)	1	72
固定資産除却損	7,269	122
売上債権の増減額 (△は増加)	△116,350	△830,626
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△159,105	△141,496
仕入債務の増減額 (△は減少)	16,613	281,607
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△136,272	215,547
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△296,093	△2,064
その他	38,972	41,076
小計	△315,254	148,994
利息及び配当金の受取額	1,996	2,075
利息の支払額	△2,351	△11,359
法人税等の支払額	△72,049	△131,626
営業活動によるキャッシュ・フロー	△387,659	8,083
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額 (△は増加)	△66,303	△53,236
有形固定資産の取得による支出	△424,131	△190,153
有形固定資産の売却による収入	30	151
無形固定資産の取得による支出	△32,325	△716
投資有価証券の取得による支出	△321	△371
投資有価証券の売却による収入	—	9,304
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△980,830
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	246,836	—
その他	△750	△3,722
投資活動によるキャッシュ・フロー	△276,964	△1,219,574
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△40,000	960,000
長期借入れによる収入	1,400,000	1,800,000
長期借入金の返済による支出	△102,609	△292,805
自己株式の売却による収入	19	36
リース債務の返済による支出	△6,510	△8,532
配当金の支払額	△160,103	△97,587
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,090,796	2,361,111
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	426,173	1,149,620
現金及び現金同等物の期首残高	5,695,456	5,052,891
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,121,630	6,202,511

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

株式会社ワタナベテクノス及び株式会社エヌ・テクノス、並びにニッタイ工業株式会社及びエヌ・トレーディング株式会社を子会社化したことに伴い、当第2四半期連結会計期間から連結の範囲に含めております。なお、ニッタイ工業株式会社は、当社の特定子会社に該当しております。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2021年9月1日 至 2022年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	金属加工事業	ゴム加工事業	建設事業 (注) 1	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	2,054,209	578,648	328,158	2,961,016	—	2,961,016
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	2,054,209	578,648	328,158	2,961,016	—	2,961,016
セグメント間の内部売上高 又は振替高	15,654	481	—	16,135	△16,135	—
計	2,069,863	579,129	328,158	2,977,151	△16,135	2,961,016
セグメント利益	151,956	137,900	6,057	295,914	△179,834	116,079

(注) 1. 当社の連結子会社である日創エンジニアリング株式会社は、いちえホールディングス株式会社の株式を取得しましたが、みなし取得日を当第2四半期連結会計期間末(2022年2月28日)としているため、建設事業において、同社及びその子会社の業績を除いて記載しております。

2. セグメント利益の調整額△179,834千円は、セグメント間取引消去10,541千円、子会社株式の取得関連費用△28,161千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△162,213千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「建設事業」セグメントにおいて、当社の連結子会社である日創エンジニアリング株式会社は、株式会社壹会を傘下に有するいちえホールディングス株式会社を子会社化したことに伴い、同社及びその子会社の株式会社壹会を当第2四半期連結会計期間から連結の範囲に含めております。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間においては252,567千円であり
ます。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 2022年9月1日 至 2023年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	金属加工事業 (注) 1	ゴム加工事業	建設事業	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	2,410,403	568,003	2,229,744	5,208,151	—	5,208,151
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	2,410,403	568,003	2,229,744	5,208,151	—	5,208,151
セグメント間の内部売上高 又は振替高	187,834	3,975	14,760	206,569	△206,569	—
計	2,598,237	571,979	2,244,504	5,414,721	△206,569	5,208,151
セグメント利益	219,719	115,344	255,866	590,931	△257,287	333,644

(注) 1. 当社は、株式会社ワタナベテクノス及び株式会社エヌ・テクノスの株式を取得しましたが、みなし取得日を当第2四半期連結会計期間末(2023年2月28日)としているため、金属加工事業において、両社の業績を除いて記載しております。

2. セグメント利益の調整額△257,287千円は、セグメント間取引消去7,249千円、子会社株式の取得関連費用△105,223千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△159,312千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの追加)

当第2四半期連結会計期間において、ニッタイ工業株式会社及びエヌ・トレーディング株式会社を子会社化したことに伴い、報告セグメントとして「タイル事業」を追加しておりますが、みなし取得日を当第2四半期連結会計期間末(2023年2月28日)としているため、タイル事業については記載していません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負のれん発生益)

「タイル事業」セグメントにおいて、ニッタイ工業株式会社及びエヌ・トレーディング株式会社を子会社化したことに伴い、当第2四半期連結会計期間から連結の範囲に含めております。

なお、当該事象による負ののれん発生益の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては1,567,763千円であります。

(重要な後発事象)

(取得による企業結合)

当社は、2023年2月20日開催の取締役会において、株式会社天神製作所の全株式を取得し子会社化することについて決議し、同日付けで株式譲渡契約を締結し、2023年3月13日付けで全株式を取得しました。

1. 企業結合の概要

(1) 被取得企業の名称及び事業の内容

被取得企業の名称 株式会社天神製作所

事業の内容 畜産排泄物処理プラントの設計、製造、施工、メンテナンス

(2) 企業結合を行う主な理由

2021年10月14日に公表した「第3次中期経営計画“Challenge”」に基づき、グループビジョンである「加工の総合商社」を展望し、M&A投資等により事業領域を拡大することで、加工を通じてお客様のあらゆるニーズに応える企業グループを形成していくためであります。

(3) 企業結合予定日

株式取得日 2023年3月13日

みなし取得予定日 2023年5月31日

(4) 企業結合の法的形式

現金を対価とする株式の取得

(5) 結合後企業の名称

名称に変更はありません。

(6) 取得する議決権比率

取得前の議決権比率 ー%

取得後の議決権比率 100%

2. 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金	800百万円
取得原価		800百万円

3. 主要な取得関連費用の内容及び金額

アドバイザー費用等 40百万円(概算額)

4. 発生するのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

現時点では確定しておりません。

3. 補足情報

生産、受注及び販売の実績

①生産実績

当第2四半期連結累計期間の生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年2月28日)	
	金額(千円)	前年同四半期比(%)
金属加工事業	1,942,306	131.4
ゴム加工事業	297,646	110.3
合計	2,239,953	128.1

- (注) 1. 金額は製造原価によっており、セグメント間の内部振替前の数値であります。
2. 当社は、株式会社ワタナベテクノス及び株式会社エヌ・テクノスの株式を取得しましたが、みなし取得日を当第2四半期連結会計期間末(2023年2月28日)としているため、金属加工事業において、両社の生産実績は含まれておりません。また、ニッタイ工業株式会社及びエヌ・トレーディング株式会社の株式を取得しましたが、みなし取得日を当第2四半期連結会計期間末(2023年2月28日)としているため、タイル事業の生産実績はありません。
3. 建設事業については、生産実績を定義することが困難であるため、生産実績を記載しておりません。

②受注実績

当第2四半期連結累計期間の受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年2月28日)			
	受注高(千円)	前年同四半期比(%)	受注残高(千円)	前年同四半期比(%)
金属加工事業	2,384,131	112.6	1,369,275	96.1
ゴム加工事業	535,013	92.1	86,322	82.8
建設事業	2,793,387	317.8	3,363,264	194.5
タイル事業	—	—	1,205,105	—
合計	5,712,532	159.7	6,023,967	184.9

- (注) 1. セグメント間の取引については相殺消去しております。
2. 当社は、株式会社ワタナベテクノス及び株式会社エヌ・テクノスの株式を取得しましたが、みなし取得日を当第2四半期連結会計期間末(2023年2月28日)としているため、金属加工事業において、両社の受注高は含まれておりません。また、ニッタイ工業株式会社及びエヌ・トレーディング株式会社の株式を取得しましたが、みなし取得日を当第2四半期連結会計期間末(2023年2月28日)としているため、タイル事業の受注高はありません。

③販売実績

当第2四半期連結累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年2月28日)	
	金額(千円)	前年同四半期比(%)
金属加工事業	2,410,403	117.3
ゴム加工事業	568,003	98.2
建設事業	2,229,744	679.5
合計	5,208,151	175.9

(注) 1. セグメント間の取引については相殺消去しております。

2. 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は次のとおりであります。

相手先	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年9月1日 至 2022年2月28日)		当第2四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年2月28日)	
	金額(千円)	割合(%)	金額(千円)	割合(%)
株式会社大林組	—	—	814,346	15.6

前第2四半期連結累計期間の株式会社大林組については、当該割合が100分の10未満のため、記載を省略しております。

3. 当社は、株式会社ワタナベテクノス及び株式会社エヌ・テクノスの株式を取得しましたが、みなし取得日を当第2四半期連結会計期間末(2023年2月28日)としているため、金属加工事業において、両社の販売実績は含まれておりません。また、ニッタイ工業株式会社及びエヌ・トレーディング株式会社の株式を取得しましたが、みなし取得日を当第2四半期連結会計期間末(2023年2月28日)としているため、タイル事業の販売実績はありません。